

情報連絡員報告総括表(令和元年9月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 (臨時・パートを含む)			業界景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製造業	食料品		4			3	1	2	2			4			3	1		3	1		4			4			1	3	
	繊維工業		2	1		3			3			3			2	1		3			2	1		3			2	1	
	木材・木製品			1		1			1			1			1			1				1			1			1	
	紙・紙加工品	1		1	1	1			2			2			1	1		2		1	1			2			1	1	
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1		
	化学・ゴム																												
	窯業・土石製品		2	1		3			3			3			1	2		3			2	1		3			1	2	
	鉄鋼・金属			1			1		1			1			1			1				1		1				1	
	一般機器		2	1		3			3			2	1		1	2		3			3		1	1	1		1	2	
	電気機器			1		1			1			1			1			1				1		1				1	
	輸送機器			1			1		1			1			1			1				1		1			1		
その他																													
小計	1	11	8	1	16	3	2	18			18	2		9	11		17	3	1	13	6	1	18	1		9	11		
非製造業	卸売業		1	1		2			2		2			1	1		2						2			1	1		
	小売業	3	1	2		5	1	2	4		5	1	1	3	2		5	1					4	2	2	3	1		
	商店街			1			1	1			1				1		1							1			1		
	サービス業		3	2				1	4		5			4	1		3	2					4	1		4	1		
	建設業	2	2						4		4		1	3		1	3						4		1	3			
	運輸業	1							1		1			1			1						1			1			
	その他		1						1		1			1			1						1			1			
小計	6	8	6		7	2	4	16		1	18	1	2	13	5	1	16	3				16	4	3	13	4			
合計	7	19	14	1	23	5	6	34		1	36	3	2	22	16	1	33	6	1	13	6	1	34	5	3	22	15		

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成30年9月～令和元年9月)

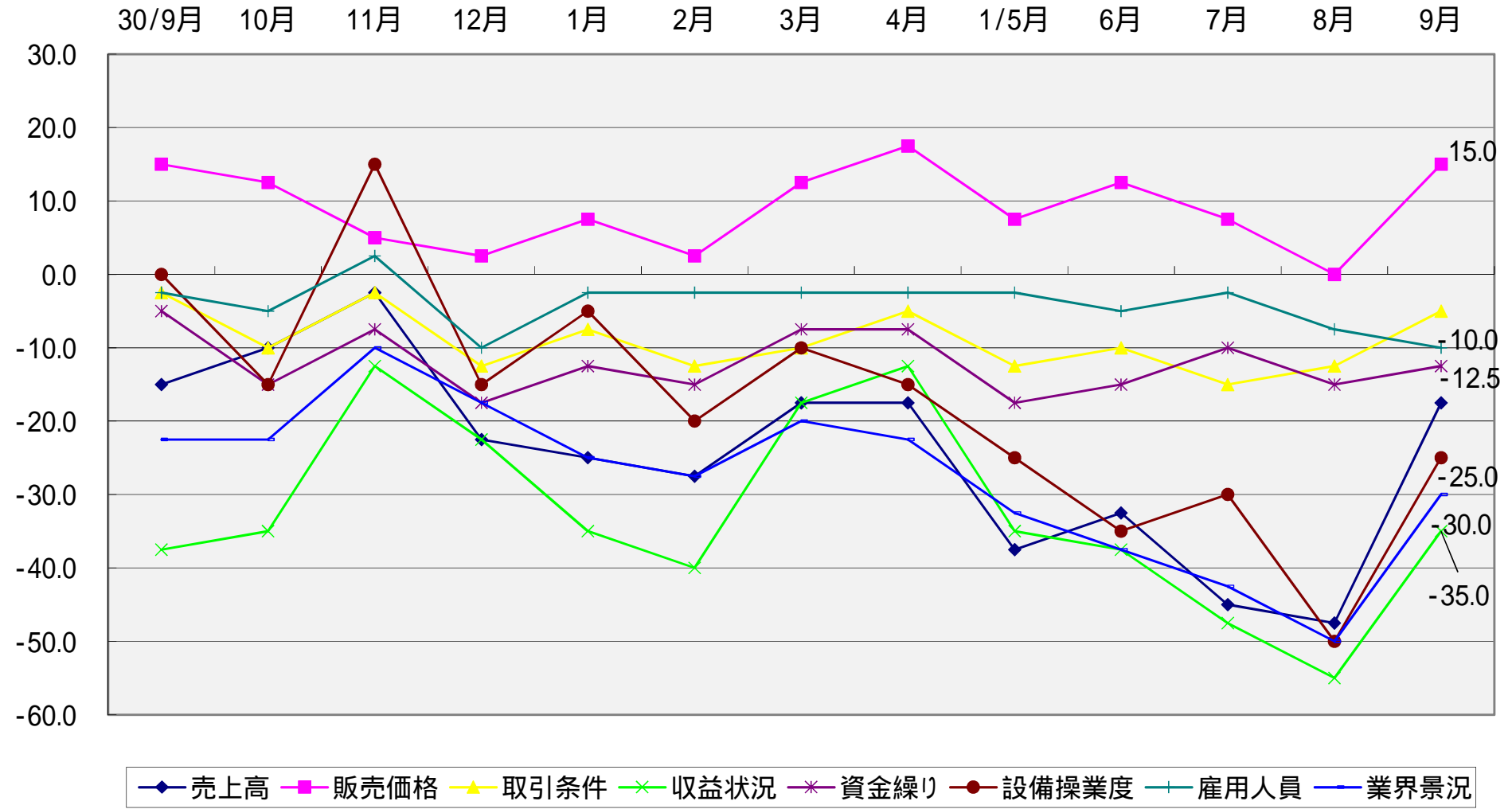
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	30/9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	1/5月	6月	7月	8月	9月	増減
売上高	-15.0	-10.0	-2.5	-22.5	-25.0	-27.5	-17.5	-17.5	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	30.0
販売価格	15.0	12.5	5.0	2.5	7.5	2.5	12.5	17.5	7.5	12.5	7.5	0.0	15.0	15.0
取引条件	-2.5	-10.0	-2.5	-12.5	-7.5	-12.5	-10.0	-5.0	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	7.5
収益状況	-37.5	-35.0	-12.5	-22.5	-35.0	-40.0	-17.5	-12.5	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	20.0
資金繰り	-5.0	-15.0	-7.5	-17.5	-12.5	-15.0	-7.5	-7.5	-17.5	-15.0	-10.0	-15.0	-12.5	2.5
設備操業度	0.0	-15.0	15.0	-15.0	-5.0	-20.0	-10.0	-15.0	-25.0	-35.0	-30.0	-50.0	-25.0	25.0
雇用人員	-2.5	-5.0	2.5	-10.0	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-7.5	-10.0	-2.5
業界景況	-22.5	-22.5	-10.0	-17.5	-25.0	-27.5	-20.0	-22.5	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	20.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。今年は春から夏にかけての高温、乾燥により、夏野菜の発芽、生育不良が発生し、原料の不足が生じている。秋野菜の作付けについては、高温、少雨が続いており、初期の生育が遅れている。また、9月18日には中部漬物協会主催の若手リーダー研修会が愛知県で開催され、西山漬物が参加した。更に今年から外国人技能実習生を対象とした外国人技能実習評価試験を今後に予定している。
	醤油味噌	9月の初旬の台風で、組合員に1件被害があった。近所の小川に稲わらが詰まり、雨水があふれて浸水し、資材や製品等に被害が出た。業況は相変わらず思わしくない。10月1日の「醤油の日の集い」で県内メーカーが2社表彰される見込みと「しょうゆ情報センター」のホームページの案内で応募すると希望の県別の醤油が1,000名以上に当たる「ふるさとのしょうゆキャンペーン」がある。11月24日に三重県総合文化センターで「マルシェ」という展示即売会に地元のアーティストと当組合が共同出展する。
	豆腐	9月は残暑が厳しく、例年より油揚げ、厚揚げ等の加工物の売れ行きが悪い。
	製麺	9月は伊勢うどんを全組合員で試食会を開催した。試食の商品はロングライフ麺の商品を行い、アンケートをとった。全体としては太さ等はバラつきがあるが、食感等は以前に比べてかなり改善がされて良くなったように思う。これからも引き続き試食会を開催する。
繊維工業	テントシート	消費税増税の駆け込み需要もなく、また台風の影響もなかったため、通常期の事業内容となった。
製紙業	紙器段ボール	消費税増税前の駆け込み需要もほとんどなかった。気候も安定し、例年通りか、昨年を少し上回る生産量になった。
	古紙	9月の取扱い重量は、前年比：段ボールは約98±6%、新聞、チラシは約94±8%、雑誌、雑紙、その他を合わせて約96±6%である。米中の貿易経済戦争やEUの一部の金融負債等による世界的な景気の縮小と、日本国内の短い夏や天災等による内需減退で全体的に消費が冷え込んでいるようである。9月末の消費税増税の駆け込み需要がみられ、段ボールは月締めで前年微増のようである。国内古紙の販売価格は変わりなく、景気の減退と原紙輸出が大幅に減少し、古紙の買取発注量は20～30%減少とされている。余剰分の古紙は、国内価格より安い値段で輸出している。働き方改革と人手不足は変わりなく、厚生年金と最低賃金の上昇や電気やガソリン等の高騰・増税もあり、古紙持ち去り行為も収まらず、無料排出所のゴミの置き去りもあり、悪意なき泥棒の小さな積み重ねが中小零細企業や団体等の存続を断ち切るかもしれない、当組合傘下企業も例外ではない。
	印刷	印刷
窯業・土石製品	伊賀焼	9月は消費税増税前の月であったが、特に駆け込み需要等あまり見られず、昨年と比較しても入館者数については減少、売上、陶芸体験者数については微増であった。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は8月とほぼ同様であった。組合独自の景況調査では回答のあった企業で減少が50%、増加が25%、横ばいが25%となった。減少の内訳は自動車関連が60%、電気・半導体関連が20%、機械関連が20%となった。増加の内訳は自動車関連は75%、産業機械が25%とメーカーによって異なる。利益動向は増加が13%、横ばいが25%、減少が62%と全体には良くなかった。働き方改革に伴い、人手不足は深刻で回避するために派遣労働力に頼るといった傾向が強い。
一般機器	四日市	韓国との政治的ないさかいが日本製品の不買運動にまで発展してしまった。残念ながらも少なからずの影響がわが国の経済活動にも及んでいる。
	津市	例年9月は8月に比べると売上は増加するが、前年同比でみると96%と微減、自動車に関連する部品は種類によって増減があり、全体的でみると横ばい。住宅関係は少しずつ減少している状態である。10月からの増税により厳しくなると思うが、まだ目立った減少にはなっていない。
	伊勢	米中関係悪化から世界景気が悪くなっていると感じる。業界もこの影響を受け、下降局面に入ったと考えられる。
電気機器	鳥羽	上期後半になり、受発注が多くなると期待していたが、意外と伸びずに苦戦している。4月～9月までの上半期は昨年より10%ダウンしている。
輸送機器	鈴鹿	自動車業界としては消費税増税前の駆け込み需要は多少はあったもののほぼ想定内で目立ったものではなかったのだが、鈴鹿市内の大手自動車メーカーでは今秋の売れ筋車種のモデルチェンジ控え、休日出勤で繁忙なようである。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	青果	野菜前半：7月以降に続いた雨と高温の影響で、トマト、キャベツ、白菜等が値上り。にんじん、玉ねぎ、じゃがいもは安定入荷。特に北海道産のじゃがいもはお買い得。野菜後半：愛知産・熊本産ミニトマトがお値打ちで行楽シーズンにお弁当には良い。キャベツ、レタスは安定して入荷。長野産の白菜は消費が伸び、値上りしている。果物前半：ぶどうは長野産、山梨産ともこれまではハウス栽培が中心であったが、露地物も入り、種類も豊富でおいしく、そしてお買い得。また長野産のリンゴも安い。果物後半：全体的に安定して入荷。ぶどうは最盛期でシャインマスカット、巨峰、ピオーネは味が良くお買い得。リンゴについては青森産サンつがるの出荷がピークでお値打ち。柿も豊富で安くなりそう。県内産の露地みかんは味も良く最高である。
	自転車	今年も当組合員数の減少に歯止めがかからない。原因は国内の景況にもあるかもしれないが、当組合の運営自体の改善が必要なのかもしれない。当業界はと言えば、明るい見通しが立つわけでもなく、低迷していると言わざるを得ない。「シーズン」になればとの期待もあるが、そろそろ秋が過ぎて、厳しい冬が来そうで、萎えてきそうだが、頑張っていくつもりである。
	電器	エアコンが引き続き好調に買換え需要が進んでいる。10月から消費税増税に備えて、メーカーの合展が前倒しに実施され、お客様の取りこぼしの無いように進め、駆け込み需要の対応に追われた。エアコン以外では、テレビとブルーレイレコーダーや洗濯機が売れた。また、今期より全商連の推進している延長保証を取り入れ、5年8年の保証を付けての販売を進めている。10月からのキャッシュレス・消費者ポイント還元事業も組合員に推進を図り、経産省への確認とカード会社との取組を拡大し、加盟店への申請及び登録確認の活動を進めた。
	石油	9月については10月からの消費税引き上げに伴う影響において燃料油販売数量が前年対比104%前後と8月に引き続き好調であった。中旬には台風の影響もあったが、休日が多かった影響もあり、燃料油販売も順調な状況であった。さらに油外商品等の販売が好調であり、多少収益が改善できたと思われる。
	スポーツ	10月より消費税がアップした。われわれ組合員の多くは学校体育の衣料の販売に携わっている。販売額の改定時期で学校事務と価格の決定が随分面倒だった。実際の販売時円の単位は負けない(1円玉の商売は無理)で切り上げるように指導したら、父兄からクレームがくるということで、切り捨てる指示に変えた。難しい話ばかりでなく、ラグビー日本チームの頑張り、ドーハの陸上世界大会男子50Km競歩での鈴木選手のカメダル等々、スポーツ熱の上昇は大歓迎である。われわれ組合員も頑張らないといけない。
商店街	熊野市	消費税率引き上げに伴い、各商店等でもキャッシュレス決済による還元申請を行う店舗も増えているようだが、高齢化が進む店舗については、今後の導入を検討していない割合も多く、今後の対応等が検討される。また、レジや会計ソフト等の税率変更、店舗内のポップやプライス等の変更作業も等も多く、不満を持つ店主も多いようだ。
	旅館	天候不順の中、9月は三連休が2週あり期待していたが、初めの三連休はかなり盛り上がりがあったようであるが、2回目の三連休は普通に戻っていた。相次ぐ台風により各地で被害が発生し、特に千葉県の長時間停電により、われわれの同業者も長期間休業している施設もある。こうした自然災害が多いと旅行動機に水をさすようで、9月全体では昨年より少し下回ったようである。
	測量	組合としての仕事も少なく、PR活動をする時間も経費もなく、ひたすら自社の業務で走る毎日である。資本投資するほどの仕事も見通しも立っていない。
	警備	例年のように仕事量があるが、従業員が昨年よりわずかに減少のため、その分売上があるが利益が伴わないのが現状である。
	内装工事業	消費税増税にともなう駆け込み需要は少なく、前回の5%から8%になった時ほど需要はなかった。しかしながら対前年同月比は減少すると予測したが、増加となった。
運輸業	トラック	当業界における働き方改革等の推進で、荷主企業に対する取引条件改善等の効果が出始めた。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	前月は軽減税率の勉強会を有難うございました。これからもよろしくお願いしたい。
一般機器	四日市	対米貿易協定がトランプの意のままに締結された。そのうち、自動車の関税も引き上げられるのではないかと不安である。
サービス業	旅館	過大とも思える最近の台風予報により、実被害はゼロでもキャンセルにより売上を減らす事が多く、資金繰りに困る場合が度々ある。このような場合の運転資金を信用保証協会枠以外で融資制度ができる事を望む。